

令和3年度
第47回 秋田県PTA研究大会 潟上・南秋田大会
[記念講演参考資料]

GIGAスクール時代の 「子どもとネット」

～いま大人に求められていること～

日 時:2021年11月14日(オンライン配信)
主 催:秋田県PTA連合会
講 師:高橋大洋(一般社団法人セーファーインターネット協会)
聞き手:柏木睦(秋田県生涯学習センター)

GIGAスクール構想とは ※GIGA:Global and Innovation Gateway for All

- 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
 - これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す
-
- GIGAスクール構想について(文部科学省ウェブサイト)
https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_0001111.htm
 - GIGAスクール構想の実現へ(文部科学省リーフレットPDF)
https://www.mext.go.jp/content/20200625-mxt_syoto01-000003278_1.pdf
 - GIGAスクール構想に関する教育関係者へのアンケートの結果及び今後の方向性について(デジタル庁ほか資料PDF)
https://cio.go.jp/sites/default/files/uploads/documents/digital/20210903_giga_summary.pdf

青少年インターネット環境整備基本計画(第5次)の指摘

- 情報教育のあり方の変化
- 低年齢化の進展
- 長時間化の進展
- 発信トラブル 他

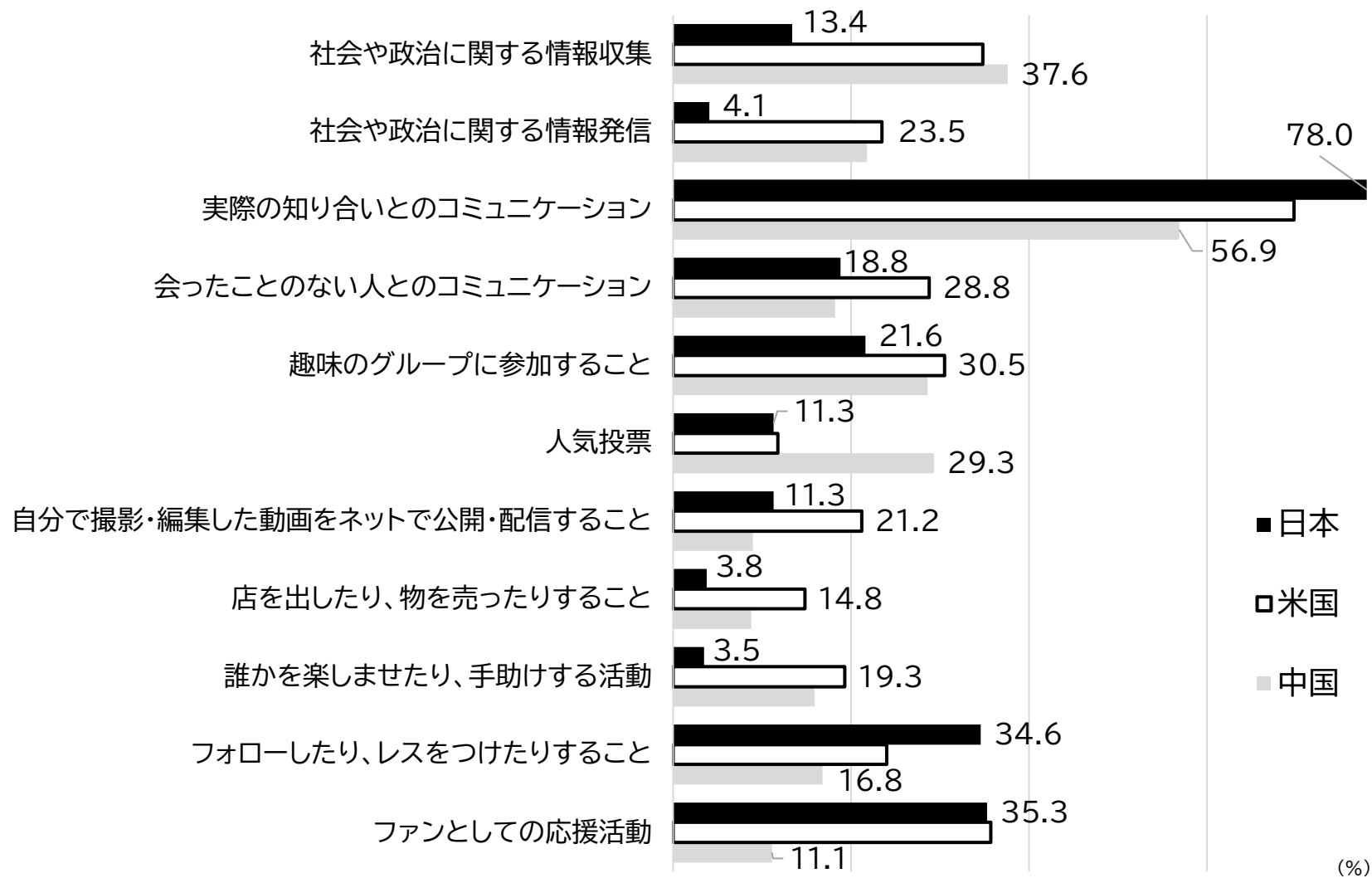
適切に活用する能力の向上促進(学校)

ペアレンタルコントロールによる対応(家庭)

- 青少年のライフサイクルを見通し、発達段階に応じて適切に管理
- 適切な生活習慣、親子でルールを作り、定期的に見直す
- 技術的手段(ペアレンタルコントロール機能)の活用 他

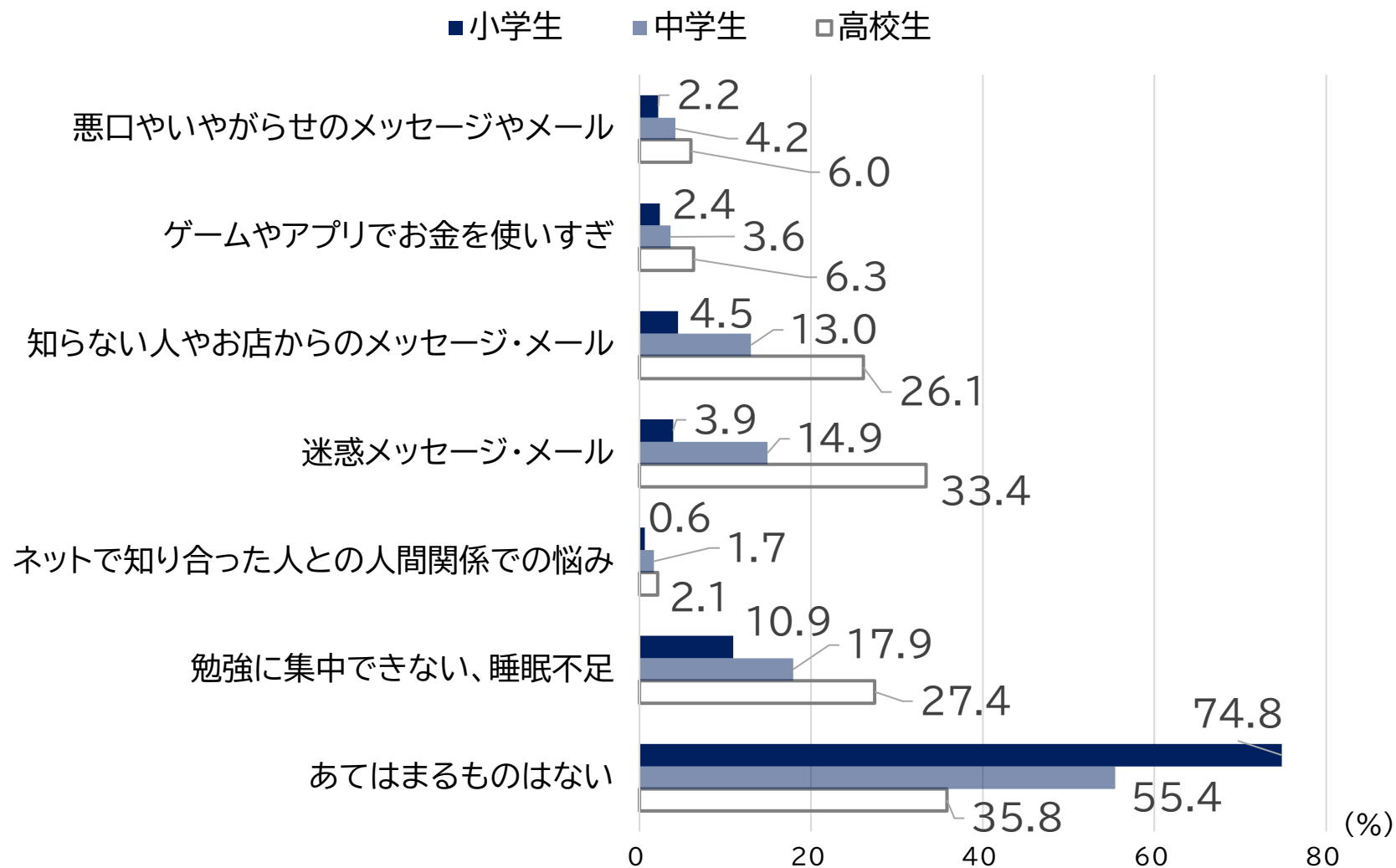
※内閣府「青少年インターネット環境整備基本計画(第5次)」(2021年6月子ども・若者育成支援推進本部決定) から一部を抜粋し加工
https://www8.cao.go.jp/youth/kankyau/internet_torikumi/guideline.html
https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/suisin/pdf/dai5ji_gaiyo.pdf
https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/suisin/pdf/dai5ji_keikaku.pdf

内向きのネット利用が目立つ日本の高校生



※国立青少年教育機構「高校生の社会参加に関する意識調査報告書」(2021年6月)p.41 から抜粋
https://www.niye.go.jp/kenkyu_houkoku/contents/detail/i/151/

ネット利用トラブル経験の実際



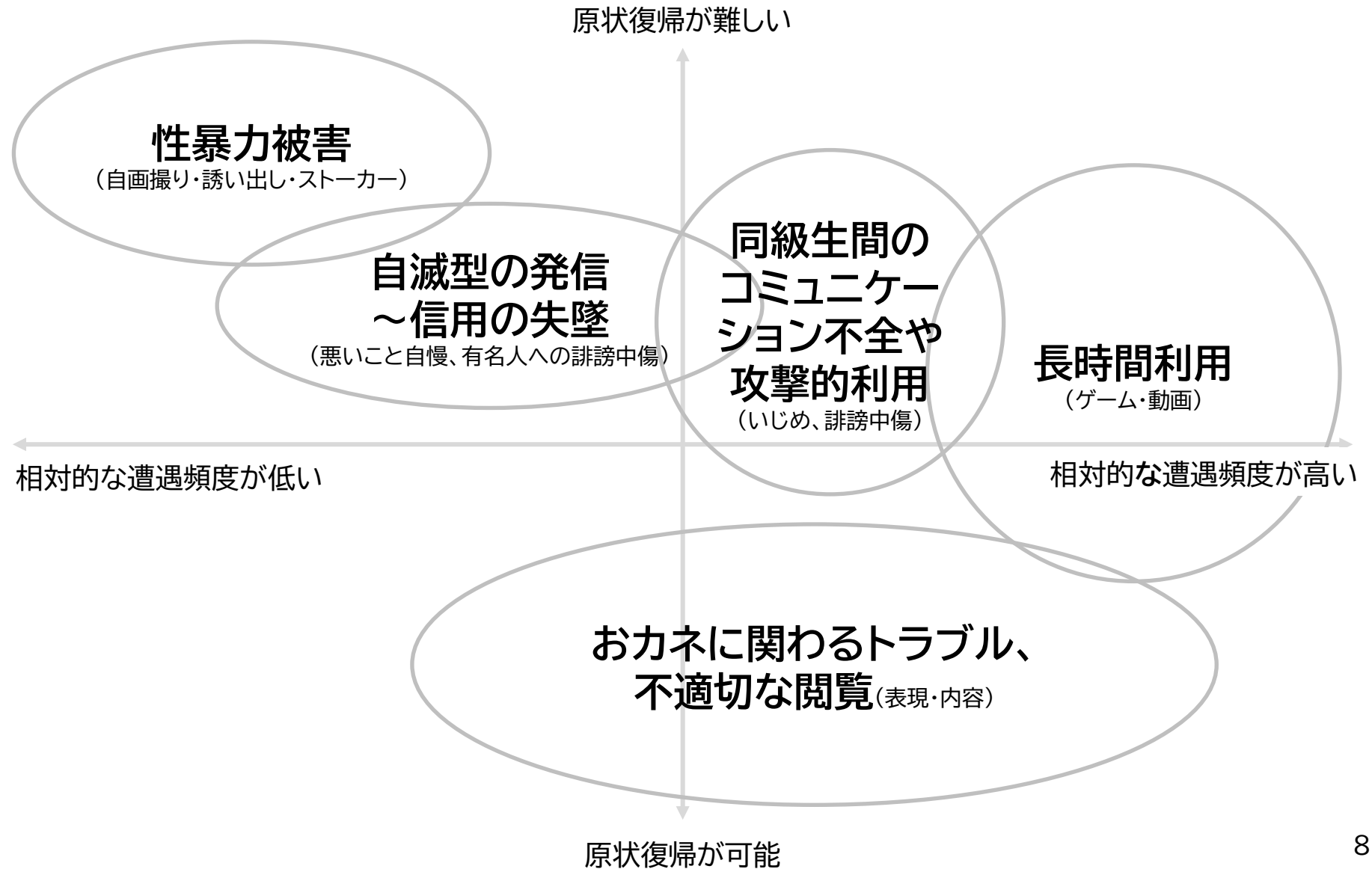
※令和2年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果(内閣府)p.99-101 (7)インターネット上の経験 から一部を抜粋・加工
<https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r02/net-jittai/pdf/2-1-1.pdf>

誹謗中傷の経験率とそれぞれの理由

- **加害経験** **17-19歳の5.2%**
 - 相手への嫌悪感(腹立たしい、気に食わなかった)
 - 注目を浴びたい気持ち(共感してもらうため、反応が欲しかった)
 - 感情に任せて深く考えずに発信
- **拡散経験** **17-19歳の5.1%**
 - 確認不足や誤認
 - 発言への共感／意見への反論
- **被害経験** **17-19歳の12.8%**
 - 心当たりがない(約3割)
 - 自分の発信内容や行動
 - いじめ／嫌われている
 - 嫉妬／妬み、勘違い／誤解、喧嘩

- ネットの功罪を正しく知る
 - これからの時代、ネット活用能力（そのための知識・技能の習得）が豊かさの基礎に
 - どう危ないのか、どのくらいの頻度か
- 子どもを上手に支える
 - 知識・技能の習得と適切な経験が必要
 - 易しいものから難しいものへ、段階的に

ネット利用トラブルの類型化



大人が子どもの良い助言者であるために

- 子どもの「好き」「楽しい」を
まずは受け止める態度
 - 無関心、頭からの否定になりがち
- 指導者ではなく
同じ一人の利用者として接する
 - 大人の経験と工夫(危険回避・活用の両面)を伝える
 - 子どものノウハウや失敗からともに学ぶ

- 「ネット以前に大切」を親子で確認
 - 睡眠（量・質）の確保
 - 他の遊び、学習とのバランス
 - 約束を守る、自分・他人を傷つけない
- ルールはなるべく減らす
 - 親自身も守れる／守らせ続けられる範囲で
 - 内容は随時見直しをしていくことを共有
 - 「～しない」→「～する」（したい時は相談する）

- 望ましい睡眠時間 ※1
 - 生後4-12ヶ月 12-16時間 (昼寝含)
 - 1-2歳 11-14時間 (昼寝含)
 - 3-5歳 10-13時間 (昼寝含)
 - 6-12歳 9-12時間
 - 13-18歳 8-10時間
- 20-20-20ルール ※2
 - 20分 情報機器の画面を見たら
 - 20フィート (約6メートル) 以上離れたものを
 - 20秒以上 見て目を休める

※1 米国睡眠医学会 (AASM) <http://www.aasmnet.org/Resources/pdf/Pediatricsleepdurationmethods.pdf>

※2 米国眼科学会(AAO)2016 <https://www.aao.org/newsroom/news-releases/detail/ergonomics-eyes-tips-avoid-computer-eye-strai>

- **情報機器**(ゲーム機、スマホ、タブレット、PC)は
子どもに「所有」させない
 - 保護者の持ち物を「貸している」を保つ
 - プレゼントや「自分で買う(支払う)」に注意
 - パスワードを正しく管理する
 - 画面ロック用と、保護者管理用は異なる
 - 子どもにも意義の理解と、
パスワードの適切な取り扱いを習得させる必要

参考: ネット利用トラブルに関わる公的相談窓口の例

- **セーフライン** (リベンジポルノ、いじめ画像などの削除依頼)
<http://safe-line.jp/>
- **誹謗中傷ホットライン**
<https://www.saferinternet.or.jp/bullying/>
- **消費生活センター #188** (消費者ホットライン)
秋田県生活センター 018-835-0999
北部(大館) 0186-45-1040 南部(横手) 0182-45-6104
- **警察安全相談 #9110**
秋田県警察本部 県民安全相談センター 018-864-9110
- **性犯罪・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター #8891**
あきた性暴力被害者サポートセンター 0800-8006-410 (県内からは通話無料)
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/28676>

参考: ネットセーフティについての学習の機会

- **あきた県庁出前講座** (講座No.168「大人が支える！インターネットセーフティ」)
園や学校、PTA、サークル等を対象にした県職員による無料講座
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/48878>
- **SIAネットセーフティ教育プログラム**
ネットセーフティの基礎が学べるオンラインコース(有償)
<https://www.saferinternet.or.jp/edu/about/>
- **NHK for School**
しまった！情報活用スキルアップ
<https://www.nhk.or.jp/school/sougou/shimatta/>
スマホ・リアル・ストーリー
<https://www.nhk.or.jp/school/sougou/sumaho/>
- **文部科学省YouTubeチャンネル**
https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbAOd2f-4u_Mx-BCn13GywDI